

## 財政収支(2018年1-9月)

(1)2018年1-9月における歳入は前年同期比19.8%増、税収は同19.2%増。

(2)歳出は前年同期比23.6%増。

(3)財政収支は567億リラの赤字(前年同期比79.4%増)。プライマリーバランスは37億リラの黒字(前年同期は150億リラの黒字)。

データ:財務省 単位:百万リラ

| 歳入・歳出内訳          | 2017年(A) | 2018年(B) | 増加率<br>((B-A)/A) |
|------------------|----------|----------|------------------|
| 歳入(a)            | 456,608  | 546,818  | 19.8%            |
| 税収               | 385,349  | 459,350  | 19.2%            |
| 所得税              | 79,534   | 99,803   | 25.5%            |
| 法人税              | 39,918   | 52,850   | 32.4%            |
| 付加価値税(国内及び輸入)    | 109,273  | 135,100  | 23.6%            |
| 特別消費税            | 98,775   | 102,756  | 4.0%             |
| その他税収            | 57,849   | 68,841   | 19.0%            |
| 税外収入等            | 71,259   | 87,468   | 22.7%            |
| 歳出(b)            | 488,221  | 603,544  | 23.6%            |
| 人件費              | 122,711  | 150,649  | 22.8%            |
| 物品及びサービスの購入      | 40,551   | 46,439   | 14.5%            |
| 経常移転             | 204,054  | 242,583  | 18.9%            |
| 資本支出             | 37,399   | 52,199   | 39.6%            |
| 支払利子(c)          | 46,577   | 60,419   | 29.7%            |
| その他歳出            | 36,929   | 51,255   | 38.8%            |
| 財政収支(a-b)        | ▲ 31,613 | ▲ 56,726 | ▲ 79.4%          |
| 基礎的財政収支(a-(b-c)) | 14,964   | 3,693    | ▲ 75.3%          |

## 経常収支(2018年1-8月)

(1)2018年1-8月の経常収支は、前年同期比13.5%減少し、306億ドルの赤字。ただ、8月単月では26億ドルの黒字となった。

(2)貿易収支は前年同期比16.0%減少、旅行収支は同26.0%の増加。

データ:中央銀行 単位:百万ドル

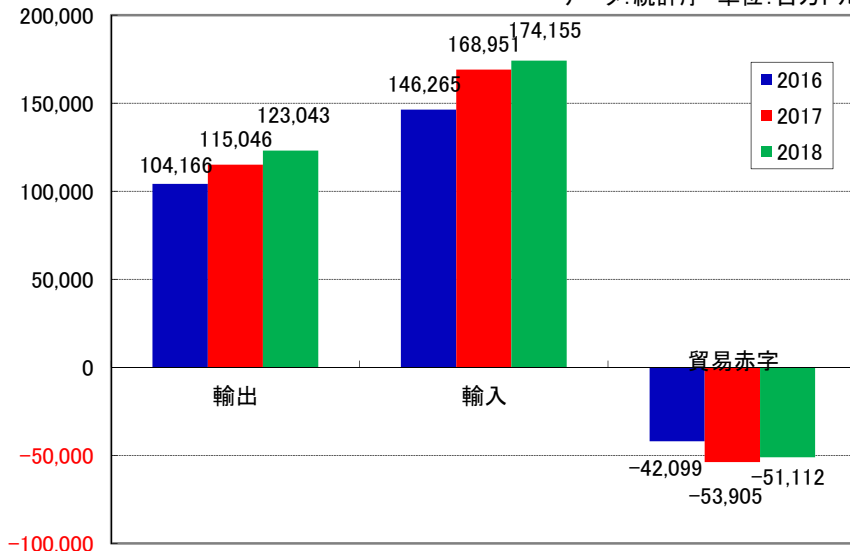
| 内訳         | 2017年(A) | 2018年(B) | 増加率<br>((B-A)/A) |
|------------|----------|----------|------------------|
| 経常収支       | ▲ 26,932 | ▲ 30,579 | ▲ 13.5%          |
| 貿易収支(物品)   | ▲ 34,263 | ▲ 39,755 | ▲ 16.0%          |
| サービス収支     | 12,451   | 16,407   | 31.8%            |
| 旅行収支       | 11,024   | 13,890   | 26.0%            |
| その他サービス収支  | 1,427    | 2,517    | 76.4%            |
| 第1次所得収支    | ▲ 6,796  | ▲ 7,482  | ▲ 10.1%          |
| 第2次所得収支    | 1,676    | 251      | ▲ 85.0%          |
| 労働者送金      | 296      | 232      | ▲ 21.6%          |
| その他第2次所得収支 | 1,380    | 19       | ▲ 98.6%          |
| 資本移転等収支    | 17       | 58       | 241.2%           |
| 金融収支       | ▲ 31,046 | ▲ 15,386 | 50.4%            |
| 直接投資       | ▲ 5,392  | ▲ 4,434  | 17.8%            |
| 証券投資       | ▲ 20,236 | 2,212    | 110.9%           |
| その他投資      | ▲ 4,020  | 246      | 106.1%           |
| 外貨準備       | ▲ 1,398  | ▲ 13,410 | ▲ 859.2%         |
| 誤差脱漏       | ▲ 4,131  | 15,135   | 466.4%           |

## 貿易収支(2018年1-9月)

(1)2018年1-9月の輸出額は1,230億ドル(前年同期比7.0%増)、輸入額は1,742億ドル(同3.1%増)となり、この結果、貿易収支は511億ドルの赤字(同5.2%赤字縮小)となった。

(2)2018年1-9月の輸出額におけるEU向け輸出の占める割合は50.4%(前年同期は46.5%)、輸入額におけるEUからの輸入の占める割合は36.4%(同35.6%)となっている。

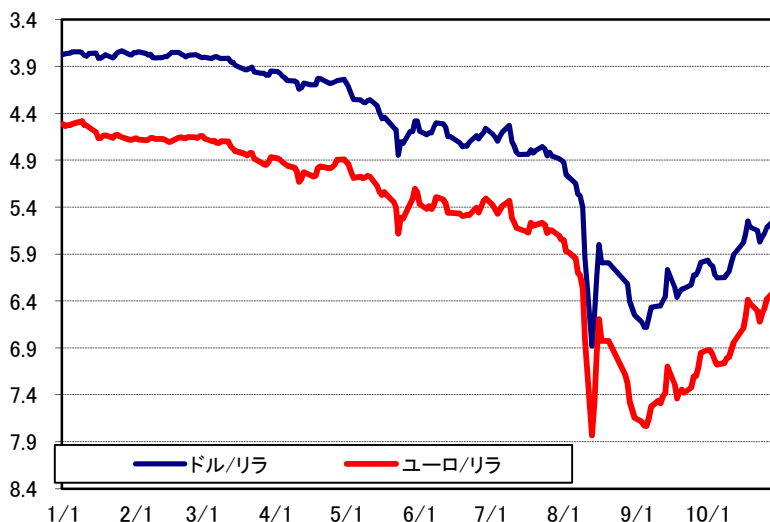
データ:統計庁 単位:百万ドル



## 為替(10月)

10月のリラ相場は、12日、トルコにて自宅拘禁中であったブランソン米国人牧師が釈放されたことで、対米関係改善が期待され、リラ高方向で推移。23日の2019年予算案公表や25日の中銀金融政策委の金利据え置き決定などは、事前予想通りで相場に影響を与えず。31日時点で1ドル＝5.4981リラ、1ユーロ＝6.2373リラ。

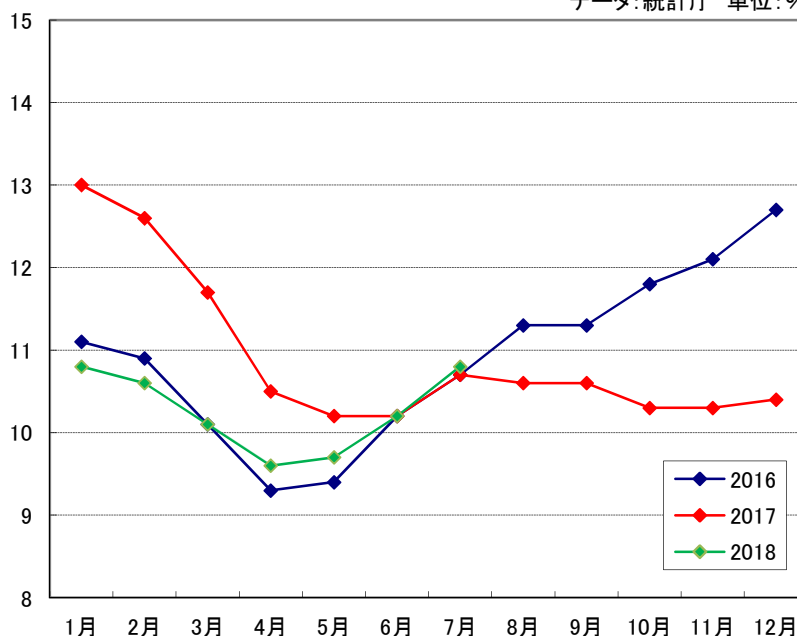
データ:中央銀行 単位:1ドル=リラ、1ユーロ=リラ



## 失業率(7月)

(1)2018年7月の失業率は、10.8%。前年同月から0.1ポイント、前月から0.6ポイントの上昇。  
 (2)労働力人口は3,280万人、就労者数は2,927万人、失業者数は353万人。  
 (3)男性の失業率は9.1%、女性は14.3%。若年層(15-24歳)の失業率は19.9%となっている。

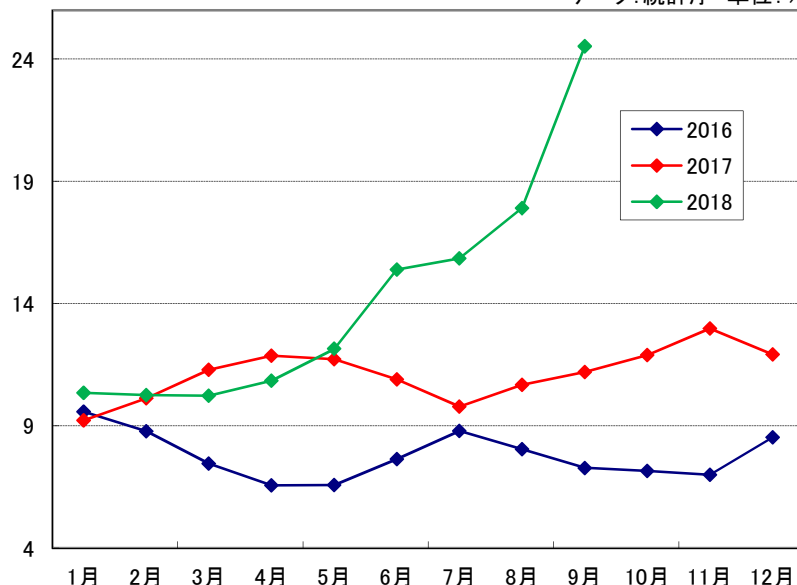
データ:統計庁 単位:%



## 物価上昇率(9月)

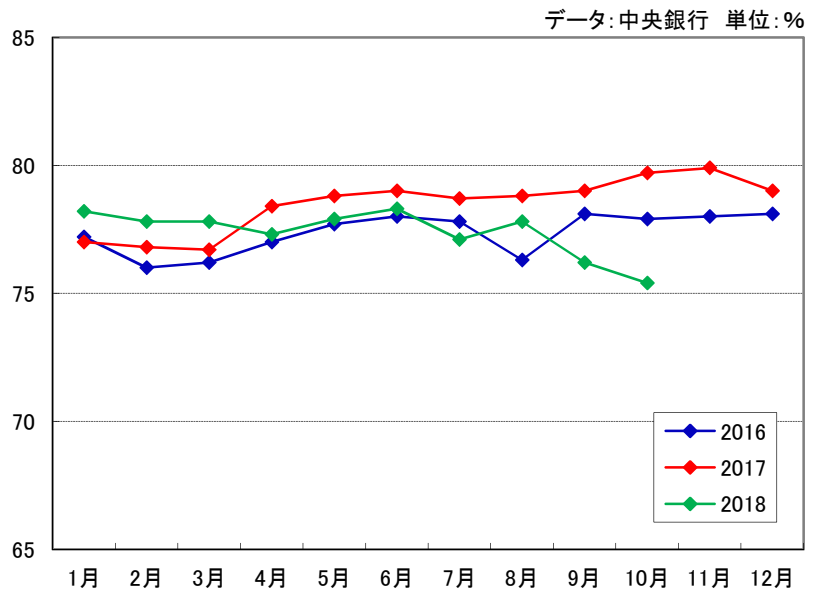
(1)2018年9月の消費者物価は前月比6.30%増、前年同月比24.52%増。  
 (2)分野別に見ると、前月比及び前年同月比とも家具・家庭用機器が最も上昇し、前月比11.41%増、前年同月比37.28%増となった。  
 (3)中銀の2018年末のインフレ見通し(10/31時点)は23.5%。  
 (4)国内生産者物価指数は前月比10.88%増、前年同月比46.15%増となった。

データ:統計庁 単位:%



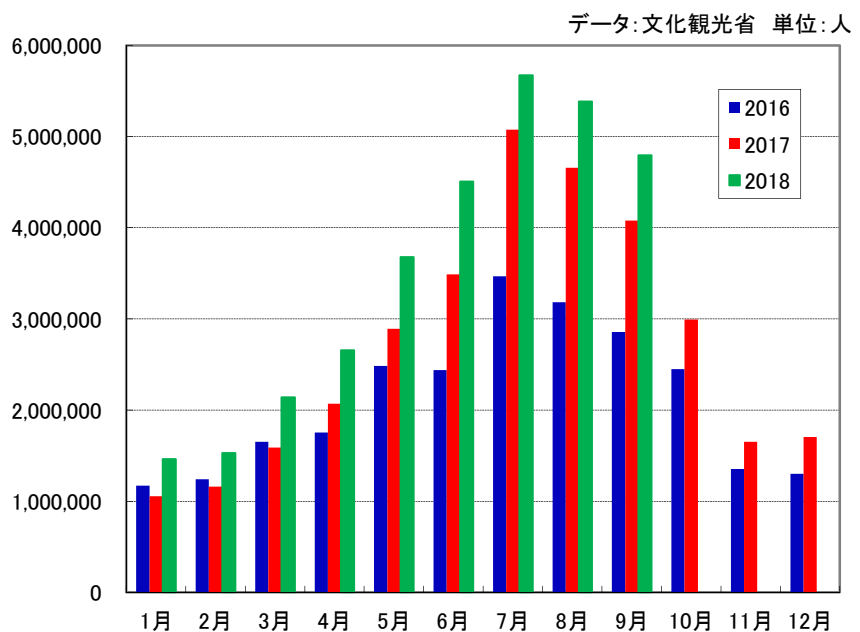
## 設備稼働率(10月)

(1) 2018年10月の設備稼働率は75.4%となり、前月から0.8ポイント減少。前年同月からは4.3ポイント減少となった。  
 (2) 製造業の分野別では、石炭・石油精製品(87.5%)が最も稼働率が高く、革及び革関連製品(55.8%)が最も低い稼働率であった。



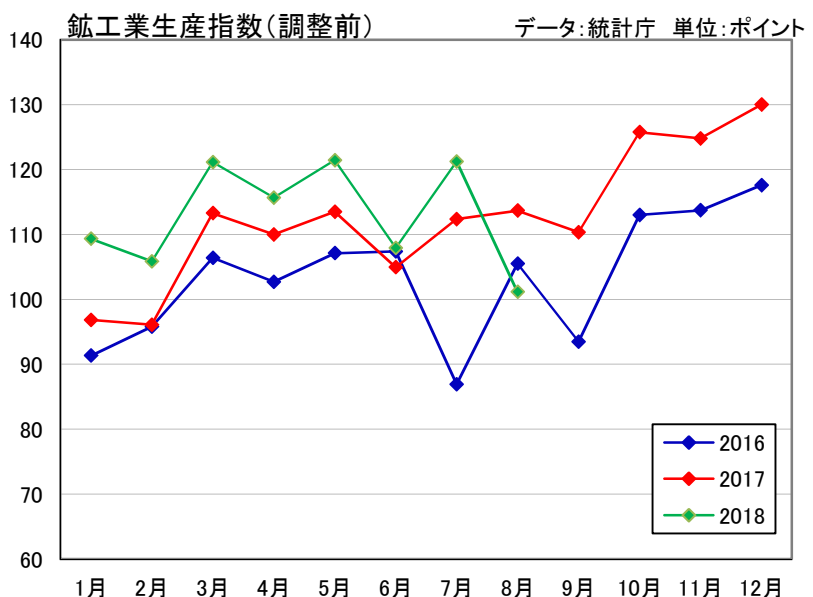
## 外国人訪問者数(9月)

(1) 2018年9月にトルコを訪れた外国人訪問者は479万人で、前年同月比17.6%増。  
 (2) 訪問者数を国別に見るとロシアからが最も多く93.4万人で全体の19.5%を占める。以下、ドイツ(59.0万人)、英国(31.8万人)となっている。  
 (3) なお、日本からの訪問者は8,939人(前年同月比60.5%増)となった。



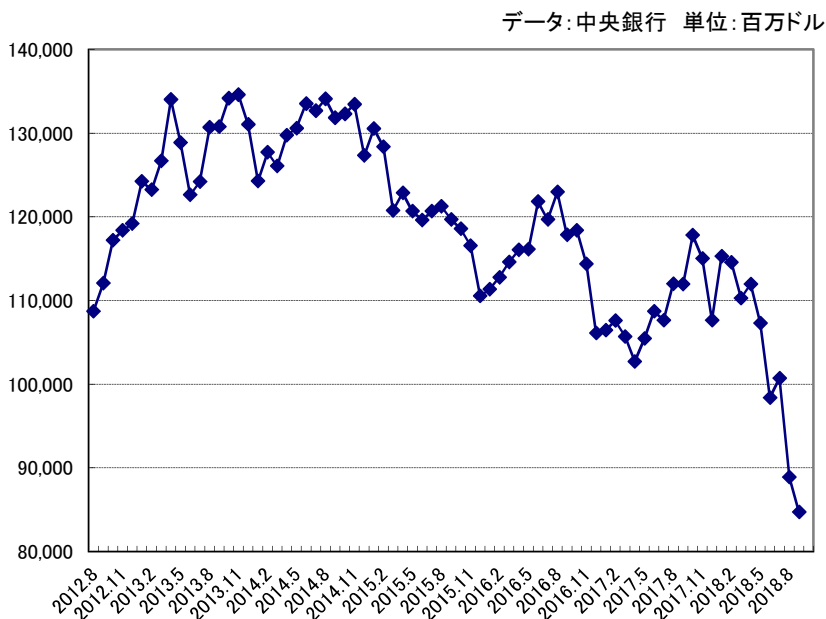
## 鉱工業生産指数(8月)

(1) 2018年8月期の鉱工業生産指数(調整前)は101.1ポイント(2015年=100)となり、前年同月比(日数調整後)は1.7%増、前月比(季節及び日数調整後)は1.1%減。  
 (2) 分野別では、非耐久消費財が前月比2.8%減、中間財が同1.8%減。



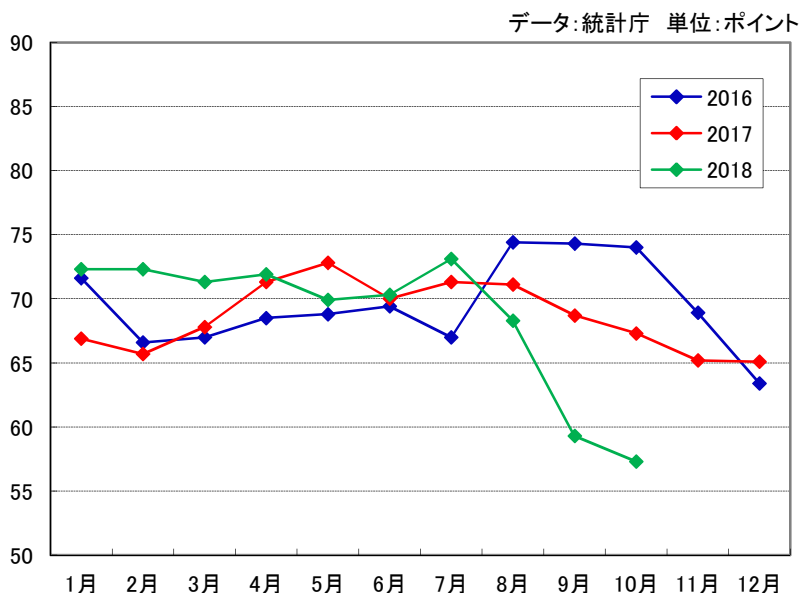
## 外貨準備高(9月)

(1)2018年9月末時点での中央銀行の外貨準備高(金を含む)は847億ドルとなった。  
 (2)2012年2月以来に900億ドルを下回った前月から、42億ドル低下した。



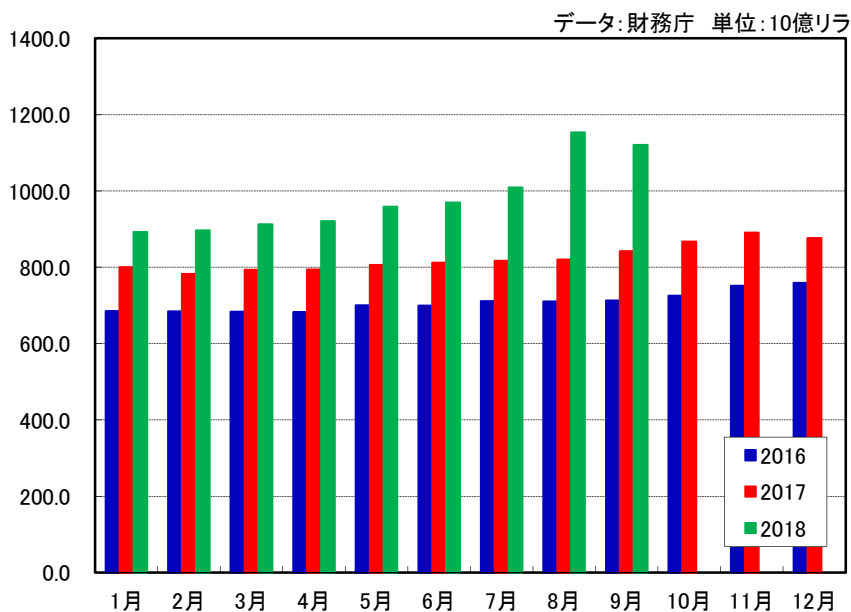
## 消費者信頼感指数(10月)

(1)2018年10月の消費者信頼感指数は前月から2.0ポイント低下し57.3ポイントと、2008年12月(56.7ポイント)以来の低水準となった。  
 (2)内訳では、失業者数見通しが3.6ポイント低下の63.6ポイント、家計における財政状況見通しが3.2ポイント低下の73.5ポイントとなった。



## 中央政府債務残高(9月)

(1)2018年9月時点での中央政府債務残高は1兆1,212億リラとなり、前年同期比33.1%増加した。なお、前月比では2.8%の減少となった。  
 (2)また、国内債務比率と自国通貨債務比率は共に52.4%となっている(2017年末61.1%)。  
 (3)なお、円建て外債(サムライ債)の発行により、債務残高のうち円は3.2%で、外貨ではドル、ユーロに次ぐ地位を占めている。



※本資料は、当館がトルコ政府発表資料を取り纏めた参考資料であり、当館がその正確性等を保証するものではありません。